

# 第五次千葉県障害者計画 主要施策管理表 平成27年度 資料5-2

主要施策	1 入所施設から地域生活への移行の推進
------	---------------------

## 総合計画等

◇ 障害のある人の地域生活を支えるため、利用者のニーズに応じた多様な住まいの場として、グループホームの拡充を図るとともに、日中活動の場の充実を図ります。

◇ 障害程度が重い人についても、できる限り地域で生活できるよう支援していくとともに、地域での支援が困難な障害のある人に対しては、入所施設の果たす役割が引き続き重要であることを留意しつつ、入所施設の有する人的資源や機能を地域生活のバックアップのために活用します。

## 基本施策

- (1) グループホームの整備促進と質的向上
- (2) 日中活動の場の充実
- (3) 地域生活を推進するための在宅サービスの充実
- (4) 重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進
- (5) 入所施設の有する人的資源や機能の活用
- (6) 県立施設のあり方

## 数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
27	12	3			1		8
28							
29							

## 主要施策の取組状況等

平成27年度	<p>【取組結果】</p> <p>(1) グループホームに対して整備補助を行い、量的な拡充を図るとともに、運営費補助や利用者に対する家賃補助、グループホーム等支援ワーカーの配置等により質的な充実を図りました。サービス管理責任者、世話人などへの研修を実施するとともに、障害者グループホーム等支援ワーカーによる事業者の運営相談支援を行いました。</p> <p>(2) 障害者(児)を受け入れる生活介護及び短期入所事業所を整備補助し、また障害児を受け入れる短期入所事業所を指定して、日中活動の場の量的充実を図りました。放課後等デイサービス事業所を指定して、日中活動の場の整備の促進を図りました。</p> <p>(3) 重度訪問介護従業者養成研修や同行援護従業者養成研修など各種研修を実施しました。国庫負担基準については、さらなる超過負担の解消のための支援策を講じることを国に要望しました。障害者虐待防止法について養護者向けの講演会を開催しました。</p> <p>(4) 強度行動障害のある方への支援体制構築事業(モデル事業)を実施、検討会へ報告し検討しました。強度行動障害のある方の支援者に対する研修を実施し、研修の実践成果については実践報告会を開催しました。重症児等を受け入れる訪問看護師研修を実施しました。</p> <p>(5) 地域生活支援拠点等の整備については、地元市等からの要望を踏まえ検討を行い、総合支援協議会や専門部会において議論を行いました。東葛飾地域に医療的ケアが必要な障害程度の重い人等を受入れる空床型の短期入所事業所を指定しました。</p> <p>(6) 千葉県袖ヶ浦福祉センターについては、第3期指定管理者として千葉県社会福祉事業団を指定し、事業団に見直しへの取り組みを促しチェック体制を充実強化しました。千葉リハビリテーションセンターについては、民間施設で対応が難しいがニーズがある利用者への対応として、濃厚な医療ケアが必要な障害児の放課後等デイサービス等の実施を検討しました。</p>
--------	---

【取組結果への対応】

- (1)一層の地域移行を図るため、利用者のニーズに応じたグループホーム等の整備を促進するとともに、障害者グループホーム等支援ワーカーの配置等により質的な充実を図ります。利用者への家賃補助、サービス管理責任者・世話人などへの研修を行います。
- (2)引き続き日中活動の場の整備を促進するほか、放課後等デイサービス事業所の指定に当たっては、事業所間の支援内容が標準化されるよう指導します。地域活動支援センターに関する財源確保については、引き続き要望を行っていきます。
- (3)今後も同等以上の研修を実施し、ホームヘルパー等の支援の質の向上に努めます。国庫負担基準による超過負担解消のための支援策を講じるよう、引き続き国へ要望していきます。障害者差別解消法について、今後も養護者への講演会の開催等により当事者団体や家族会の活動を支援していきます。
- (4)モデル事業の成果については、成果の普及・啓発に努めます。強度行動障害のある方の支援者に対する研修は次年度も着実に実施し、通所事業所等の障害福祉サービス従事者に対する拡充も検討します。
- (5)地域生活支援拠点等の整備については、地元市等からの要望を踏まえ、検討を行うとともに、支援に取り組めます。障害程度の重い人等を受入れる事業所の拡充に努めるとともに、障害者支援施設の人的資源や機能を地域生活支援に活用します。
- (6)県の監査や見直し進捗管理委員会委員による個別支援計画の確認、指定管理者モニタリングにより支援の実態把握に努めます。養育園と更生園をそれぞれ単独の施設として管理運営できる体制整備に向けた検討について、具体的な方向性を示します。千葉リハビリテーションセンターについては、今後も他の医療機関等では対応できない高度な医学的リハビリテーション等の機能により県民のニーズに対応していきます。